



一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

News Release

〒100-0013
東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番 3 号
全日通霞が関ビル 5 階
TEL: 03-3593-0139
FAX: 03-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

令和 5 年 9 月 29 日

令和 5 年度 第 1 回物流環境対策委員会を開催

～株式会社商船三井様による

「LNG 燃料フェリーの建造と商船三井グループの環境取り組み」講演開催～

（一社）日本物流団体連合会（真貝康一会長）は、9 月 26 日（火）、全日通霞が関ビル（千代田区霞が関）において、令和 5 年度第 1 回物流環境対策委員会（委員長：日本貨物鉄道株式会社 取締役 兼常務執行役員 経営統括本部長 篠部武嗣氏）を開催しました。

「物流環境対策委員会」は、物流の低炭素・脱炭素化や効率的な輸送システムの構築など、物流分野の環境対策の促進を目的として、諸課題の検討や情報提供を行っています。また、有料事業者・優良事例の表彰等を通じ、環境対策の普及促進に取り組んでおり、年 2 回対策しています。

令和 5 年度第 1 回委員会では、まず第一部として講演会を実施し、第二部で上期活動報告と下期活動内容を審議しました。

第一部の講演に先立ちまして、当連合会の主催する「第 24 回物流環境大賞」で大賞を受賞した株式会社フェリーさんふらわあ 取締役 堀内啓介氏より挨拶があり、親会社の株式会社商船三井が講演するに至った経緯をご説明されました。元来、当講演は大賞受賞した企業が行いますが、受賞案件である日本初の LNG 内航船「さんふらわあ くれない」は商船三井が開発所有、フェリーさんふらわあが運航を担っており、グループ全体の環境マネジメント説明であれば商船三井社が適任であると、今回特別に講演を引き受けていただきました。

講師は同社ウェルビーイングライフ営業本部 フェリー・関連事業部 スペシャリストの中村正史氏が務められ、フェリー事業に 10 年以上携わる氏から「さんふらわあ くれない」の開発の経緯、意義、今後の取り組みなどをお話しいただきました。最新鋭のフェリーを就航したことは若い人への訴求力アップにつながり、船員の獲得への足掛かりになったという望外の成果があった一方で、内航海運はコスト回収が難しい市場環境であり、コスト転嫁に苦慮していることなど、デメリットも交えて分かりやすく説明くださいました。また、外交海運として直面している、カーボンプライシングや EU - ETS（欧州排出権取引制度）にも話が及び、「環境」が重要政策となっている欧州の情勢にも触れるよい機会となりました。



講演を行う中村氏

第二部として開催された委員会では、年に2～3回開催している「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」において、荷主企業を招いて意見交換、物流施設の見学会といった新たな試みを行っている旨を説明しました。委員会で取り扱っている「物流環境大賞」「モーダルシフト優良事業者表彰」「グリーン物流パートナーシップ会議」の各種表彰制度を今後も鋭意継続するとともに、情報交換会のさらなる内容の充実を提言し、令和5年度の下期動計画（案）は原案通り承認されました。

次回の委員会は来年3月頃の開催を予定しており、当連合会では以上の活動を通じて物流業界全体での環境負荷低減の取り組みを推進してまいります。



議事進行の篠部委員長



会場全景とオンラインで挨拶する堀内氏

以上

事務局 島田